

## 平成 22 年度

### 三重大学教育学部附属教育実践総合センター年報

所在地：〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577

電話 059-231-9339 FAX 059-231-9343

URL <http://cerp.edu.mie-u.ac.jp>

構成員（平成 23 年 2 月 28 日現在）：

センター長（併） 下村 勉 教授（simomura@edu.mie-u.ac.jp、059-231-9339）

専任教員

教育工学部門 下村 勉 教授（simomura@edu.mie-u.ac.jp、059-231-9340）

教育実践研究部門 須曾野仁志 教授（susono@edu.mie-u.ac.jp、059-231-9341）

教育臨床研究部門 岡田 珠江 准教授（t-okada@edu.mie-u.ac.jp、059-231-9250）

客員教員 男山 佳子 客員教授

事務補佐員 大平 幸枝（ohira@salon.edu.mie-u.ac.jp、059-231-9339）

#### ■ 学内での年間活動状況

##### a) センター主催・共催の研究会・研修会

名 称	概 要	時 期	期間	対 象	回 数	参加者数
センター主催 iCERP 研究会	部門、学部、附属の連携のための研究会	2010.8 ～ 2011.3	1 年	学部・附属・他	年 3 回	延べ約 200 名+α
学習支援研究会	月例会での研究・実践の発表と討論	2010.4 ～ 2011.3	1 年	学校教育関係者	年 12 回	延べ約 140 名
三重インターネット教育利用研究会（MIEUP）	メーリングリストによる交流	2010.4 ～ 2011.3	1 年	学校教育関係者		登録者約 50 名
センター主催 教育臨床研修講座	「集団づくり」・「カウンセリング」に関する演習と事例研究等	2010.4 ～ 2011.1	1 年	県内学校園	年 10 回	登録約 20 名 延べ 200 名
国際教育推進プログラム（津市・三重県教育委員会・三重大学・NPO 等の共同プロジェクト）	三重大学における「パンゲア」活動	2010.6 ～ 2011.3	1 年	学部・大学院生・津市内児童生徒	年 10 回	毎回約 50 名
教育実践研究関連センター協議会・会場校（共催）	講演・総会・部門会議など	2010.9.17	1 日	大学教員	1 回	66 名
三重大学アカデミックフェア（共催）	ポスターセッションコメディネーター	2011.2.11	1 日	一般市民	1 回	約 200 名

##### b) センター専任教員の学部・大学院教育への参与状況

● 学部担当授業					
担 当 教 員 名	授 業 科 目 名	コマ数	人 数	指導態様	備 考
下村 勉	教育工学	1 コマ	17 名	後期	
下村 勉	教育工学演習、メディアリテラシーと情報表現 I	1 コマ	20 名	前期	
下村 勉	情報処理講究 I	1 コマ	5 名	通年	
下村 勉・須曾野仁志	情報科教育法	1 コマ	10 名	通年	
須曾野仁志	教育工学	1 コマ	101 名	前期	

須曾野仁志	教育実践演習、メディアリテラシーと情報表現 2	1 コマ	26 名	後期	
須曾野仁志	情報処理講究Ⅱ	1 コマ	5 名	通年	
岡田 珠江	教育臨床Ⅰ	2 コマ	100 名	後期	
岡田 珠江	カウンセリング実習	1 コマ	8 名	前期	
岡田 珠江	学校カウンセリング	1 コマ	23 名	前期	
● 大学院担当授業					
下村 勉	教育工学特論	1 コマ	13 名	前期	
下村 勉	教育工学特論演習	1 コマ	4 名	後期	
下村 勉	課題研究Ⅰ	1 コマ	1 名	後期	
須曾野仁志	学習支援特論	1 コマ	5 名	前期	
須曾野仁志	学習支援特論演習	1 コマ	0 名	後期	
須曾野仁志	課題研究Ⅱ、Ⅲ	1 コマ	1 名	前後期	
岡田 珠江	学校臨床心理学特論	1 コマ	5 名	前期	

【学 部】○卒業研究生受け入れ・卒業論文指導

情報教育課程 2 年生：4 名、3 年生：4 名、4 年生：5 名、計 13 名)

○研究生受け入れ・研究指導 1 名

【大学院】○大学院生の修士論文指導 2 名

【教員免許更新講習】○必修講習 講師 4 回 選択講習 3 回 (岡田 1 回、下村 1 回、須曾野 1 回)

■ 対外的な教育・研究活動状況

a) 都道府県／市町村／公立学校等との協同事業による研究会・研修会

名 称	概 要	時 期	期間	対 象	回 数	人 数
情報教育教員内地留学生	県教育委員会派遣の教員の受け入れ	2010.4～2011.3	1 年	学校教員		1 名
教育臨床教員内地留学生	県教育委員会派遣の教員の受け入れ	2010.4～2011.3	1 年	学校教員		3 名
津市内小学校対象デジタルストーリーテリング支援	DST 制作支援・制作用マイクなど貸し出し・学生派遣	2010.4～2010.3	1 年	学校教員・児童	10 回	100 名
津市立東観中学校授業支援	生徒によるデジタルストーリーテリング制作支援	2010.5～2010.7	3 ヶ月	生徒	10 回	99 名
津市立南が丘小学校授業支援	アンガーマネージメント授業支援	2010.5.15	1 日	学校教員	1 回	30 名
津市立南が丘小学校特別支援教育校内研修会	不登校児童への理解と指導についての講演講師	2010.6.30	1 日	学校教員	1 回	50 名
津市立椋本小学校への支援	授業における ICT 機器の活用支援	2010.7～2011.3	9 か月	学校教員		1 クラス
三重大学高大連携東紀州講座	高校生を対象とした公開授業「ストレスマネジメント」	2010.7.29	1 日	高校生	1 回	40 件
津市教委主催研修会	津市立学校教員のためのデジタルストーリーテリング制作支援	2010.8.4	1 日	学校教員	1 回	15 名
三重県教育委員会免許法認定講習	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む）の理論及び方法	2010.8.6,8,9	2 日	学校教員	1 回	35 名

名 称	概 要	時 期	期間	対 象	回 数	人 数
津市教育研究会夏季一斉部会	開発ソフトの紹介と書画カメラの活用の講演、発表助言	2010.8.18	1 日	学校教員	1 回	20 名
四日市市立楠小学校の授業支援（スクイーク作品交流会を含む）	「総合的な学習の時間」における Squeak 活用授業の支援	2010.10.2	1 日 + $\alpha$	児童・学生	1 回 + 随時	30 + 5 名
津市教委主催研修会	伊賀市立学校教員のための電子黒板・書画カメラ等活用講習	2010.10.7	1 日	学校教員	1 回	40 名
三重県内教育研究所連絡協議会教育相談部会	心の交流と支援法を考えるー交互彩色法を用いてー	2010.12.9	1 日	適応指導教室指導員	1 回	20 名
津市立西が丘小学校授業支援	児童によるデジタルストーリーテリング制作支援	2011.1 ~ 2011.2	2 ヶ月	児童	6 回	160 名
津市立栗真小学校への支援学生の派遣	2 年生「生活科」：パソコンによる名刺づくり支援	2011.1.21	1 日	児童・学生	1 回	19+13 名
津市立津新町小学校授業支援	児童によるデジタルストーリーテリング制作支援	2011.1.21	1 日	児童	1 回	32 名
津市教育研究会冬季一斉部会中ブロック情報教育部会	実践研究に対する講評・助言	2011.2.9	1 日	学校教員	1 回	40 名
三重大学アカデミックフェアポスターセッション出展	内地留学生・卒研生の研究成果をポスター展示	2011.2.11	1 日	一般市民・学生・教員	1 回	8 件

b) 教育臨床部門専任教員による公立学校等へのカウンセリング／コンサルテーション活動状況

- ・教育実践総合センター心理相談室（コンサルテーション・通年・県内学校園教員・週 1 回・延べ 20 人）
- ・教育実践総合センター心理相談室（カウンセリング・通年・県内児童生徒、保護者・週 2 回・延べ 70 人）
- ・教育実践総合センター心理相談室（スーパービジョン・通年・臨床心理士・月 1 回・延べ 10 人）

c) その他

- ・スクールカウンセリング研究会（事例検討会・隔月 1 回・県下臨床心理士・6 回・延べ 30 名）
- ・学級における「お絵かき遊び」プロジェクト（隔月 1 回・県下教諭、養護教諭・5 回・延べ 25 名）
- ・描画を用いた心の健康づくりに関する研究（不定期・県下養護教諭・5 回・延べ 5 名）
- ・未就園児の親子貼り絵遊びの試み（不定期・県下指導員・5 回・延べ 5 名）
- ・国立大学教育実践研究関連センター協議会教育臨床部門幹事、不登校研究会参画（監事）
- ・埼玉大学教育学部附属教育実践総合センターとの共同研究「イメージ描画を用いた学校カウンセリングに関する研究」
- ・平成 22 年度統計グラフ三重県コンクール「パソコンの部」に 6 点出品（4 点が入賞）
- ・三重大学教育実践総合センターの紹介パンフレットの作成
- ・三重大学教育実践総合センター紀要 31 号の発行（年 1 回）
- ・三重大学教育実践総合センター Web サイトの更新（毎月 1 回以上）

## ■ センターの外部資金導入状況

### a) センター専任教員が研究代表の科研費受給状況

助 成 金 名 称	研 究 題 目	本年度金額	研究期間	研究代表者
基盤研究 (C)	思考力・表現力と意欲を高める Web 2.0 的な ICT 活用授業の開発と評価	160 万円	2010 ～ 2012 年度	下村 勉

### b) センター専任教員あるいはセンターとして受給した学内科研

助 成 金 名 称	研 究 題 目	本年度金額	研究期間	研究代表者
三重大学教育 GP	実体験活動のデジタルストーリーテリングと学習成果の活用	50 万	2009～ 2010 年度	須曾野仁志
三重大学国際交流事業経費助成	アジアにおける未来遺産 DST プロジェクトー未来に伝えたいものをデジタルストーリー（紙芝居）で作り、アジアの学生・子どもをつなぐー	40 万	2010 年度	須曾野仁志
大学教育・学生支援推進事業【テーマ A】	隣接学校園との連携を核とした教育モデル		2009～ 2011 年度	後藤太一郎

## ■ 将来構想

- iCERP 研究会の継続発展を中心に、部門・学部・附属・地域の学校等との連携をはかること
- 現職教員の資質向上のため、研修講座と内地留学のカリキュラムを充実させること
- 大学周辺公立学校および附属学校園と協働プロジェクトの推進を展開すること
- 共同研究プロジェクト等を通しての関係機関との連携強化をはかること